

## 「代協役員との懇談会」次第

日 時 : 2017年10月11日(水) 13時45分～14時45分頃まで  
場 所 : 仙台ガーデンパレス 2階「鳳凰」

[司会] 日本損害保険協会 東北支部  
事務局長 新井 吾一

### 開 会

開会挨拶 ..... 日本損害保険協会 東北支部  
委員 長 小坂 源  
日本代協会長挨拶 ..... 日本損害保険代理業協会  
会 長 金子 智明

### 出席者紹介

東北支部出席者紹介 ..... 日本損害保険協会 東北支部  
事務局長 新井 吾一  
代理業協会出席者紹介 ..... 日本損害保険代理業協会  
理 事 丸山 邦夫

### 各ブロック・県の代協活動

..... 日本損害保険代理業協会 北東北ブロック協議会  
ブロック会長 塩田 聡  
日本損害保険代理業協会 南東北ブロック協議会  
ブロック会長 中野 伸二

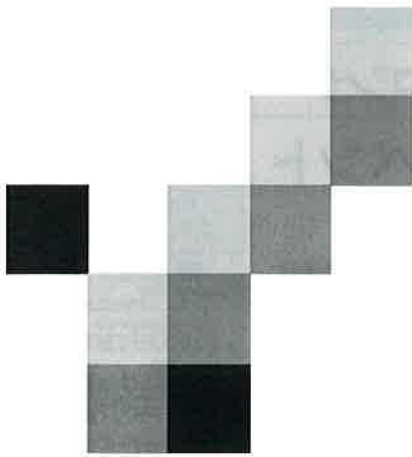
損保協会東北支部の活動 ..... 日本損害保険協会  
事務局長 新井 吾一

### 懇談および質疑応答

- ・次年度以降の「懇談会」の持ち方について
- ・その他

### 閉 会

以 上



# 日本損害保険協会 東北支部の活動

一般社団法人 日本損害保険協会 東北支部

## 東北支部の課題

### 1. 超高齢社会への取組み



高齢者交通事故の防止策を一時停止と反射材に絞込み



高齢者の特性を踏まえ、注意が必要な事項、有益な情報提供、トラブルへの注意喚起等



高齢者の契約トラブルを未然に防止することを目的として、高齢者とその家族等に向けて保険契約時等に特に注意していただきたいポイントを記載

これらのツールを利用して、各地で講師派遣の勉強会や啓発イベントの開催など

## 2. 自然災害への取組み(防災教育促進)

### 第14回「ぼうさい探検隊」マップコンクール

- ◎子どもの自由研究や、地元の防災イベントにも最適な活動です。
- ◎マップ作りに役立つ文具がそろった「実施キット」や、実施方法を説明した「実施マニュアル」を無償でご提供します。



【応募締切】 2017年11月8日(水) 必着  
※年間を通して受付

【ぼうさい探検隊に関するお問い合わせ先】

- 日本損害保険協会 東北支部 (担当: 新井吾一、藤盛真由美)  
TEL: 022-221-6466
- 小学生のぼうさい探検隊マップコンクール事務局  
TEL: 03-6822-9355 (平日10:00~18:00)
- ぼうさい探検隊紹介HP: <http://www.sonpo.or.jp/efforts/reduction/bousai/>  
申込HP: <https://edp-entry.jp/>



3

## 3. 自然災害への取組み(地震保険の普及拡大)

地震保険の都道府県別付帯率(2016年データ、単位:%)

北海道 52.4	栃木 64.2	石川 56.2	滋賀 57.5	岡山 56.8	佐賀 50.1
青森 62.9	群馬 56.6	福井 59.7	京都 55.7	広島 67.0	長崎 45.0
岩手 67.9	埼玉 60.4	山梨 69.8	大阪 59.0	山口 60.1	熊本 74.3
宮城 86.4	千葉 58.7	長野 56.7	兵庫 56.2	徳島 73.8	大分 65.9
秋田 69.5	東京 58.1	岐阜 74.6	奈良 63.8	香川 68.8	宮崎 79.0
山形 62.5	神奈川 59.3	静岡 64.4	和歌山 61.0	愛媛 66.0	鹿児島 76.3
福島 72.2	新潟 64.0	愛知 72.9	鳥取 66.8	高知 84.8	沖縄 54.2
茨城 61.9	富山 54.1	三重 66.2	島根 57.8	福岡 67.2	全国平均 62.1

(注) 当該年度中に契約された火災保険契約(住宅物件)に地震保険が付帯されている割合。

<出典> 損害保険料率算出機構資料より

## 4. 自然災害への取組み(地震保険の普及拡大)

地震保険付帯率の一層の上昇に向け、特に代理店が行う募集活動を業界全体で支援

### ①代理店向けセミナー

2017年度は宮城県での開催を予定。  
開催の骨子は11月または12月の午後(2講演を予定)  
第1部は学識経験者による県内の地震被害予測等  
第2部は募集現場から地震保険募集にかかる講演

### ②市民大学講座の開催

今年度は岩手県盛岡市で開催。自然災害(水害)の防災講演と併せて開催。2014年秋田、2015年山形、2016年青森で開催。

2017 山形

### ③協会HPに代理店活用ツールを公開

協会HP <http://www.jishin-hoken.jp/> にアクセス  
資料室の映像・データの活用をいただきたい

### ④地震リスク関連情報の整理

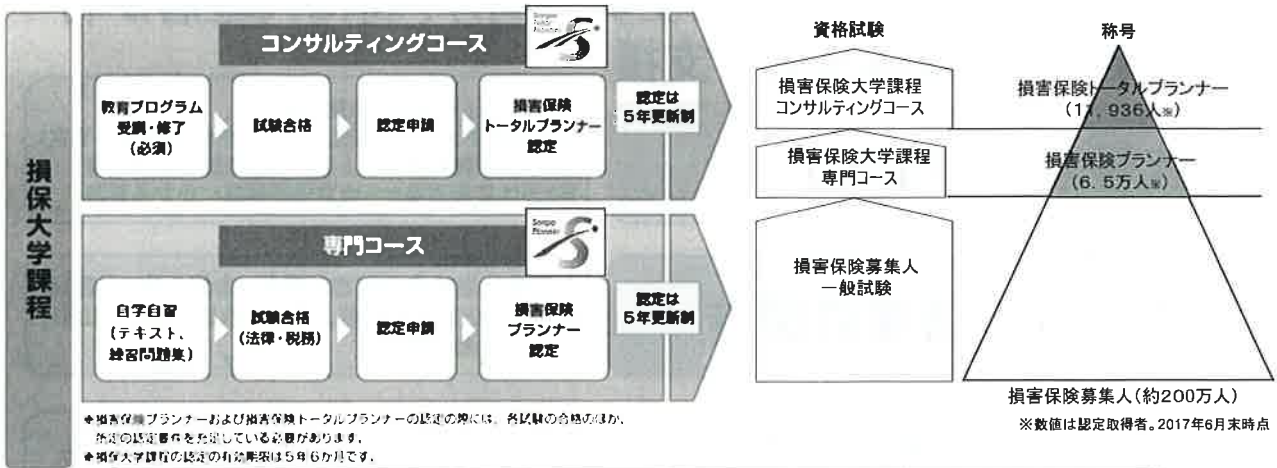
東北支部で今後30年の地震発生確率や地盤の揺れやすさ、主な活断層や過去の被害地震の情報を各県ごとに整理

The image shows a screenshot of the Jishin Hoken Association's website. At the top left, there is a banner for "地震保険" (Earthquake Insurance) with the text "地震保険は、家だけの保険じゃない。家族の保険なんだ。" (Earthquake insurance is not just insurance for the house. It's insurance for the family.). Below this, a scroll bar is annotated with "協会HP 地震保険画面" (Association HP Earthquake Insurance Page). A large downward arrow points to a box labeled "下スクロール" (Scroll Down). The main content area includes a "TVCM" section with a video player, a "地震ソナエすぐらく" (Earthquake Preparedness is Easy) section with a map, a "地震保険とは" (What is Earthquake Insurance) section, and a "日本の地震リスク" (Earthquake Risk in Japan) section with a risk assessment tool. At the bottom, two boxes are annotated: "映像で学ぶ地震保険" (Learn Earthquake Insurance with Video) pointing to the TVCM section, and "統計データ" (Statistical Data) pointing to the risk assessment tool. The footer of the website includes the text "東日本大震災50周年の追悼" (Commemoration of the 50th Anniversary of the Great East Japan Earthquake).

## 5. 募集態勢構築の取組み(損害保険大学課程)

<損害保険トータルプランナー、損害保険プランナー認定までの流れ>

<募集人資格の位置づけ>



◆損害保険プランナーおよび損害保険トータルプランナーの認定の際には、各試験の合格のほか、  
 所定の認定要件を充足している必要があります。  
 ◆損害保険課程の認定の有効期間は5年6か月です。

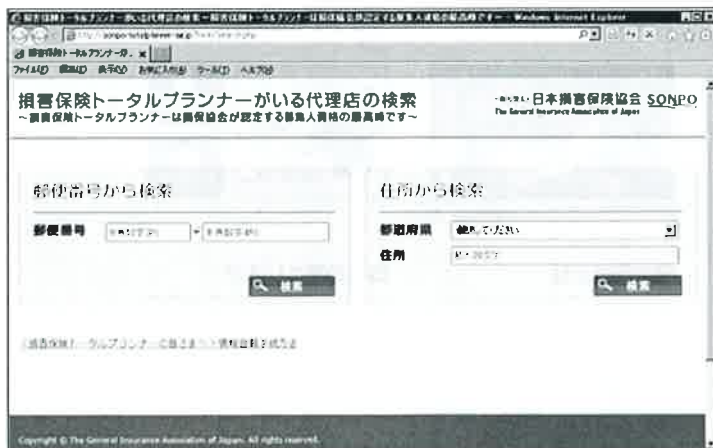
### 2017年04月開講 損保大学課程コンサルティングコース受講申込結果

地区	代協名	受講申込者				代協別 目標数	達成率	ブロック計	ブロック 目標数	達成率	前年度ブロック 目標と実績	
		代理店	(内会員)	社員	合計							
北東北	青森	27	22	1	28	9	311%					
	岩手	9	7	1	10	9	111%	52	25	208%	26	37
	秋田	13	9	1	14	7	200%					
南東北	宮城	35	29	1	36	17	212%					
	やまがた	22	21	0	22	10	220%	80	40	200%	42	50
	福島	22	18	0	22	13	169%					

### 【損害保険トータルプランナーがいる代理店の検索】

損保協会のホームページで、「損害保険トータルプランナー」がいる代理店を、郵便番号や住所から検索できます。

<http://sonpo-totalplanner-ag.jp/>



※損保協会のホームページ  
 (http://www.sonpo.or.jp)  
 内にあります。



## 秋田ねんりんピックで高齢者事故防止イベントを開催

～秋田県警・秋田県庁と合同で実施～

日本損害保険協会東北支部(委員長:小坂 源・三井住友海上火災保険株式会社執行役員東北本部長)では、9月9日(土)～9月11日(月)の3日間、秋田ねんりんピック2017\*において、秋田県警察本部交通企画課・秋田県生活環境部県民生活課と合同で高齢者事故防止のイベントを行いました。

秋田県では高齢者が交通事故の当事者となる割合が全国的にも高く、交通事故防止対策が喫緊の課題となっています。協会から県警・県に働きかけ、選手や応援団として多くのシニア層の来場があるねんりんピックにおいての啓発が実現しました。

開催期間中、県警・県と合同で高齢者事故防止の啓発チラシを配布し、高齢者を対象に反射材の装着を呼びかけました。本啓発では、夜間の高齢者事故防止のポイントである「反射材」をより活用してもらうため、反射材の装着を薦めるとともに、ブース内では、交通事故防止の願いを込めた反射材の「折鶴」を来場者の方に折ってもらい、その場で靴につけてもらいました。開催期間中、用意した600枚の「折鶴」反射材はすべて来場の高齢者に装着いただき、盛況のうちに3日間の啓発を終了しました。

協会では、第7次中期基本計画(2015～2017年度)の重点課題に「超高齢社会への取組み」を掲げ、高齢者の事故防止・減少に資する活動を推進しています。東北支部では、引き続き関係機関と連携し、交通安全を呼びかけていきます。

\*ねんりんピックとは、60歳以上の方を中心とした文化、健康と福祉の総合的な祭典で、今回で30回目を迎えています。



<啓発チラシを説明する損害保険会社社員>



<警察官が反射材折鶴の折り方を説明>



<なまはげも折鶴に挑戦>



<反射材折鶴・完成後はキーホルダーとして靴に>

<お問い合わせ先>東北支部・新井 吾一、藤盛 真由美(TEL:022-221-6466)

私たちが選ぶ地球の未来・・・限りある資源を大切に使いましょう!

## 市民大学講座で自然災害への備えの必要性を呼びかけ

～東北財務局、岩手県、岩手損害保険代理業協会等との連携による開催～

日本損害保険協会東北支部(委員長:小坂 源・三井住友海上火災保険株式会社執行役員東北本部長)では、9月15日(金)に盛岡市で「自然災害～地震・水害被害～に備えるin岩手」を開催し、命と財産を守るための“備え”と“生活再建”について、必要性を訴えました。本講座は東北財務局と日本損害保険協会が主催し、岩手県損害保険代理業協会が共催、岩手県および岩手日報が後援したものです。(実施概要は以下参照)

開会挨拶で岩手損保会の豊岡 正幸会長(三井住友海上火災保険株式会社岩手支店長)からは、ここ数年、大きな自然災害や局地的な豪雨災害が甚大な被害をもたらし、もはや気候の変動がこれまでの経験にない地域や規模で被害をもたらしている。本日は自然災害への備えについて学び、考えていただく機会となることを祈念しているとの挨拶がありました。

基調講演では、盛岡財務事務所の佐藤 義伸 所長から、地震保険制度の仕組みに関し保険料率や政府による再保険の内容について説明があり、地震保険の安定性をアピールしました。次いで岩手県総合防災室の西島 敦 防災危機管理監から、昨年の台風10号で大きな被害に遭った岩泉町の例もあげ、自助の必要性と共助の効果について説明があるとともに、防災気象情報の活用の重要性について呼びかけました。

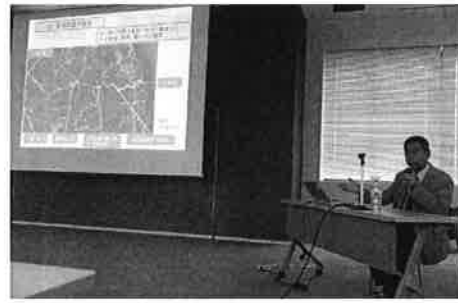
また、セミナーとして、長岡技術科学大学の准教授であり、「震災がつなぐ全国ネットワーク」の共同代表も務めている松田 曜子氏から、被災後の生活再建について、家の片付けの仕方や行政手続き、避難所での過ごし方等について、NPO等での被災地支援の経験をもとにした具体的な説明がありました。

講座には、岩手県内の一般消費者、自治体職員、損保関係者など約140名が参加し、昨年の台風10号や近年多発している豪雨災害などもあり、自然災害への関心の高さがうかがえました。

東北支部では、引き続き、国や地方自治体、他団体等と連携の上、自然災害に対する啓発や地震保険の普及に努めるとともに、平時・有事における関係各所との連携のあり方について検討を進めてまいります。



<講演する盛岡財務事務所 佐藤氏>



<講演する岩手県総合防災室 西島氏>



<講演する長岡技術科学大学 松田氏>



<会場の様子>

<お問い合わせ先>東北支部・新井 吾一、藤盛 真由美(Tel : 022-221-6466)

私たちが選ぶ地球の未来・・・限りある資源を大切に使いましょう！

＜ご参考＞東北財務局市民大学講座 「自然災害～地震・水害被害～に備えるin岩手」実施概要

日時・場所：2017年9月15日（金）13:30～15:40 盛岡中央消防署6階大会議室

主催：東北財務局（盛岡財務事務所）、日本損害保険協会（東北支部岩手損保会）

共催：岩手県損害保険代理業協会

後援：岩手県、岩手日報社

参加：岩手県内の一般消費者、消防団員、自治体職員、損保関係者 約140名

式次第：

ー 開会挨拶

日本損害保険協会 岩手損保会長（三井住友海上岩手支店長） 豊岡 正幸

ー 基調講演1 地震保険について

講師：東北財務局盛岡財務事務所長 佐藤 義伸

ー 基調講演2 災害から守れ！ 自らを、家族を、地域を。～台風第10号災害から～

講師：岩手県総務部総合防災室 防災危機管理監 西島 敦

ー セミナー 被災者支援のエキスパートに学ぶ生活再建の知識

講師：長岡技術科学大学環境社会基盤工学専攻・准教授 松田 曜子

（震災がつなぐ全国ネットワーク 共同代表）

ー 連絡事項 日本損害保険協会 東北支部からのお願い

講師：日本損害保険協会東北支部事務局長 新井 吾一

ー 閉会挨拶

東北財務局 盛岡財務事務所長 佐藤 義伸



## 秋田県で「シルバーセーフティーサポート協定」を締結

～秋田県警・秋田県・秋田代協・損保協会の4者で高齢者対策を推進～

日本損害保険協会東北支部(委員長:小坂 源・三井住友海上火災保険株式会社執行役員東北本部長)では、秋田県警察本部、秋田県および秋田県損害保険代理業協会と「シルバーセーフティーサポート協定」を締結しました。

秋田県警察本部で行われた調印式には、秋田県警察本部の扇澤 昭宏 本部長、秋田県生活環境部の田中 昌子 部長、秋田県損害保険代理業協会の 塩田 聡 会長および当支部秋田損保会の岡崎 和男 会長(三井住友海上火災保険株式会社秋田支店長)が出席し、協定書に調印しました。

秋田県の高齢化率は全国一であり、高齢者の交通事故や犯罪被害防止対策は、最も重要な課題の一つとなっています。高齢者交通事故防止に関する協定は、既に静岡県・愛知県において締結されていますが、本協定は、交通事故防止対策だけでなく、高齢者の犯罪被害防止等、高齢者の安全安心に関する内容が盛り込まれた総合的な高齢者対策の協定となりました。また、警察本部長が締結者となったことも、全国で初めてのケースとなっています。

当支部秋田損保会では、9月9日から11日の3日間、秋田県警・秋田県と連携し、秋田ねんりんピック2017において、高齢者事故防止の取り組みを実施しています。調印を行った秋田損保会の岡崎会長からは、「今後、本協定のもと、更なる連携で高齢者事故等の減少に寄与できるよう、業界一丸となって取り組んでいきたい」と話がありました。



<協定書への調印>



<4者による記念撮影>



<お問い合わせ先>東北支部・新井 吾一、藤盛 真由美(TEL:022-221-6466)

私たちが選ぶ地球の未来・・・限りある資源を大切に使いましょう！

次年度以降の「懇談会」の持ち方について

1. 問題意識

昨年、宮城県で県ベースでの懇談会を開催するようになり、東北6県全県において、県代協幹部と県の損保代表者が懇談する態勢は構築できた。

しかしながら、開催時期は7月、11月、2月とばらばらであることから、各県開催の趣旨も考えつつ、開催時期についてより良い見直しができるのではないか。

また、本会（支部委員と代協役員との懇談会）の位置づけも再考し、効率化も含め、懇談会（本会・各県）の全体像を整理したい。

【整理のポイント（確認）】

- ・代協と損保会社との連携をもって、損保業界として社会的役割を果たす必要がある。
- ・そのために、各県代協と各県損保会社との代表が懇談の機会をもち、情報共有を行い、両者間で連携・事業を推進していくことが活動の基本となる。
- ・一方、各県で開催した懇談会の内容につき、東北管内を統括する支部委員と情報共有することは重要であり、本会は双方方針・事業等に沿って各県での連携と事業等の推進を理解・確認するなどの目的で開催する。

2. 各県懇談会の開催時期と開催趣旨

【今年度】

青森懇談会 2/21 実施予定  
 岩手懇談会 7/19 実施済  
 宮城懇談会 11月 実施予定  
 秋田懇談会 2/16 実施予定  
 山形懇談会 7/14 実施済  
 福島懇談会 2/28 実施予定

【次年度】

各県懇談会を7月に実施

【開催時期を7月にするメリット】

- ・年度早期に双方の年度方針・事業等を共有することで一層の事業推進が可能

【デメリット】

- ・事務局業務の集中

開催時期は変更なし

本懇談会 10月第2水曜

- ・東北全体の双方方針・事業等の理解・確認
- ・各県での連携と事業等の推進支援

3. 本会の出席委員

【今年度】

(代協側)

北東北ブロック役員  
 南東北ブロック役員

(損保側)

支部委員  
 各県代表（損保会長等）

【次年度】

(代協側)

変更なし

北東北ブロック役員  
 南東北ブロック役員

(損保側)

各県代表は原則出席しない  
 ※各県取組みは各県懇談会で確認済のため

支部委員